

第 2 次久喜市総合振興計画 基本計画
＜基本目標 7・8＞ （検討原案）

第2部 基本計画

基本目標 7 市民一人ひとりが主役！絆を大切にし協働・共創のまちをつくる

＜基本目標 7＞ （検討原案）

7-1. 地域コミュニティと協働のまちづくりを推進し絆を深める

5年後のまちの姿

町内会や自治会、地区コミュニティ協議会、NPO やボランティア団体等の市民によるまちづくり活動が活発で、地域課題の解決に向けた取組みが市民主体で進んでいます。

また、様々な事業や計画策定過程等への市民参加が行われ、市民・事業者・関係団体・行政等による協働・共創のまちづくりが実現しています。

◇関連する SDGs の主なゴールとターゲット

ゴール	
ターゲット	16.6 16.7 16.10

現状と課題

- 市民ニーズの多様化や生活環境の変化等によって地域社会が大きく変遷する中、人との絆の大切さが見直され、町内会や自治会等の地域コミュニティ、文化・スポーツ活動、ボランティア等のコミュニティの重要性が高まっています。
- 本市では、コミュニティ施設を活動拠点とし、情報発信等を通じたコミュニティ意識の高揚、地区コミュニティ協議会の設立支援等に努めるほか、コミュニティ施設の管理運営を行っています。
- 地区コミュニティ協議会の活動支援等を通じて、地域課題の解決に向けた市民主体の取組みを促進するなど、市民によるまちづくり活動の活性化が必要です。
- 本市は、久喜市自治基本条例に基づき、市民参加の推進を積極的に図っています。今後も、様々な機会を捉えて事業や計画策定過程等への市民参加を促し、市民・事業者・関係団体・行政による協働のまちづくりをより一層進めることが必要です。

関連図表や写真等

関連図表や写真等

施策の方向性

協働・共創のまちづくり指針

- 生活する地域に関心を持ち、様々な地域活動に参加します。
- 市民意見提出制度（パブリック・コメント）等に参加します。

（１）地域課題の解決に向けた市民主体の取組みを応援します

情報発信等を通じてコミュニティ意識の高揚を図るとともに、地区コミュニティ協議会の活動支援を行い、あらゆる世代が参加しやすい仕組みを作るなど、市民による主体的なまちづくり活動の活性化を図ります。また、活動拠点となるコミュニティ施設の管理運営や、施設機能の充実に努めます。

（２）市民団体・ボランティア団体の活動を支援します

団体への情報提供や補助金の交付等を行うことで、市民団体・ボランティア団体の創意工夫による、発展性のある新たなまちづくり活動を支援します。また、地域活動に関するあらゆる関係者・関係団体との連携を強化し、活動の充実に努めます。

（３）幅広く市民参加の機会を用意し、協働のまちづくりを進めます

協働のまちづくりの機運を高めるため、引き続き、市民参加と協働への理解促進に努めます。また、様々な機会を捉え、事業や計画策定過程等への市民参加を促し、市民・事業者・関係団体・行政等による協働のまちづくりを進めるとともに、デジタル技術等の活用により、市民、特に次代を担う若い世代の市政に対する興味・関心が高まるような、新たな手法を取り入れた市民参加の仕組みづくりを進めます。

重要業績評価指標（KPI）	現状値（R3）	目標値（R9）
附属機関委員のうち 10～30 歳代の者の割合		

関連する分野別計画

市民参加計画（毎年度策定）

7-2. 地域間や国外との幅広い交流を促し出合いを大切にする

5年後のまちの姿

友好都市や姉妹都市をはじめ、国内外の地域との交流が活発に行われています。

また、異なる文化や価値観、産物等に触れることにより、市民の心の豊かさが養われるとともに、多文化共生のまちづくりが進んでいます。

◇関連する SDGs の主なゴールとターゲット

ゴール				
ターゲット	4.7	10.2 10.7	11.a	17.16

現状と課題

- 国際化や情報社会の進展を背景に、国内外の地域はより身近なものとなっています。異なる文化や価値観、産物等に触れることにより、多様性への理解が進むだけでなく、多文化共生をはじめとする新たな視点からのまちづくりの促進が期待されます。
- 本市では、友好都市の提携を結ぶ青森県野辺地町と、産業交流のほか、「久喜ロータリークラブ」による小学生の宿泊交流を行っていますが、新たな分野における交流の促進が必要です。
- 本市では、アメリカ合衆国オレゴン州ローズバーグ市と姉妹都市の提携を結び、成人及び中学生の親善交流(受入・派遣)事業が行われています。今後は、「久喜市・ローズバーグ協会」の活動を支援し、事業の継続的な展開が必要です。

関連図表や写真等	関連図表や写真等
----------	----------

施策の方向性

協働・共創のまちづくり指針

- 新たな価値観や文化等を学び、SDGs 等の国際的な取組みを踏まえた活動をします。
- 国内外の他の地域に暮らす人々と、観光やスポーツイベント等で交流します。

(1) 多様な国内の地域との地域間交流を進めます

関係団体の活動を支援するなど、様々なまちの良さに触れることのできる地域間交流事業の充実を図るとともに、文化・スポーツ等の様々な分野における交流を推進します。

(2) 多様な国外の地域との国際交流を進めます

関係団体の活動を支援するなど、市民の親善交流事業の充実を図るとともに、国外の文化に触れることで、これからの社会に求められる国際感覚あふれる視点を持った人材育成を推進します。

(3) 市民・団体・事業者等による地域間交流・国際交流を支援します

市民が多様な文化や価値観に触れる機会を作るとともに、様々な角度から地域活性化を図るため、文化・スポーツ等を含めた幅広い交流を進め、教育・学習や観光・産業だけでなく、市民・団体・事業者等による新たな地域間交流・国際交流活動を支援します。

重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (R3)	目標値 (R9)
国際交流・地域間交流事業参加者数		
交流関連イベントの来場者数		

関連する分野別計画


無し

7-3. 多種多様なステークホルダーと連携する

5年後のまちの姿

高等教育機関や事業者、関係団体等の多種多様なステークホルダー（関係者）と本市が効果的に連携・協力することで、複雑化かつ多様化する課題へ共に対応し地域活性化に取り組む、絆を大切にした協働・共創のまちづくりが実現しています。

◇関連する SDGs の主なゴールとターゲット

ゴール			
ターゲット	4.7	10.2	17.16

現状と課題

- 社会経済情勢の著しい変化を背景に、解決すべき地域課題は複雑化かつ多様化しています。この課題解決に向け、行政だけでなく、高等教育機関や事業者、関係団体等の多種多様なステークホルダーが主体的に連携する、地域共治（ローカル・ガバナンス）のまちづくりが進められています。
- 本市では、大学等の高等教育機関と連携協定を締結し、各種イベントやボランティア等に連携協定先の教員や学生が参画するなど、まちづくりの様々な分野で、地域活性化に向けた協働の取組みを推進しています。更なる地域活性化に向けて、今後も高等教育機関との連携の強化が必要です。
- 本市では、事業者や関係団体と連携協定を締結し、本市の更なる活性化や市民サービスの向上等に向けた取組みを幅広く進めています。行政の有する資源に限りのある中、地域課題の解決に向け、今後も連携を強化しながら、事業者等が有するノウハウ等をまちづくりへ活用するとともに、PPP/PFI の手法等を活用した更なる官民連携によるまちづくりの推進が重要です。

関連図表や写真等

関連図表や写真等

施策の方向性

協働・共創のまちづくり指針

- 高等教育機関の学生等と交流を深めるため、連携事業に関心を持ち、イベントや学習等に参加します。
- 市と連携するステークホルダーとして、有するノウハウ等を生かし、市民の学びや健康づくり等に協力します。

(1) 高等教育機関との連携によるまちづくりを進めます

誰一人取り残さない社会の実現といった SDGs の視点を踏まえた地域課題の解決に向けて、高等教育機関が持つ知見や専門知識等を活用し、様々な分野において連携を図り、協働・共創のまちづくりを進めます。また、連携によるイベント等の開催により、市民や学生間の交流による関係人口を増やします。

さらに、新たな時代潮流や地域課題を見据え、他の高等教育機関との新たな連携について推進します。

(2) 民間事業者等との連携によるまちづくりを進めます

事業者や団体の持つノウハウ等を活用し、幅広い分野において共に協力し合い、誰一人取り残さない社会の実現といった SDGs の視点を踏まえた地域課題の解決に取り組みます。また、産官学連携を視野に入れるなど、更なる相乗効果をもたらす連携を推進します。

さらに、新たな時代潮流や地域課題を見据え、研究機関や金融機関といった様々な業種との新たな連携について推進します。

(3) 民間活力を生かした行政サービスの向上を図ります

行政の有する財源や人材に限りのある中において、PPP/PFI の手法等を活用した事業の展開を進めます。また、民間活用によるサービスの向上等を図るため、公共施設における指定管理者制度の適切な運用を推進します。

重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (R3)	目標値 (R9)
高等教育機関や民間事業者等との連携交流事業数		
連携によるイベントにおける関係人口数		

関連する分野別計画

無し

7-4. 広く久喜をPRして賑わいを創出しまちの魅力を高める

5年後のまちの姿

多様な媒体を通じた戦略的なシティプロモーションが展開され、久喜の魅力が広く浸透・認知され、市民の地元への誇りや愛着も高まっています。

また、各種イベントや祭りのほか、交通利便性や自然環境等の本市の多様な魅力について効果的かつ戦略的なシティプロモーションを図ることで、企業立地や交流人口・関係人口が増加し、移住・定住が促進され、まちの賑わいが創出されています。

◇関連するSDGsの主なゴールとターゲット

ゴール				
ターゲット	8.9	11.a	12.b	16.6 16.7 16.10

現状と課題

- 地域の魅力の醸成は、移住・定住の促進や産業振興のためにも重要であり、地域資源の発掘やブランド化、戦略的なシティプロモーションに取り組む自治体が増えています。
- 本市は、様々な機会を捉えて久喜の魅力を市内外に発信し、シティプロモーションを推進しています。今後は、シティプロモーションが交流人口・関係人口の増加だけでなく移住・定住等にも繋がるような戦略的な取り組みが必要です。
- 本市は、豊かな自然や、久喜提燈祭り等の催し、コスモスやラベンダー等の花、梨やいちご等の特産品、静御前の墓や鷲宮神社、アニメ、クッキーダンス等の豊富な地域資源・観光資源を有しており、多様な魅力があります。今後は、このような魅力を市民等との協働のもと更に発掘し、活用を図っていくことが重要です。
- 広報紙や市ホームページのほか、メール配信サービスや公式 SNS、公式動画チャンネル等を通じて、正確で分かりやすい市政情報の提供に努めています。今後も、様々な情報発信媒体の特性を生かし、市の魅力やイベント情報、防災情報等を継続して効果的に配信することが必要です。
- 我が国初の林学博士であり、「日本の公園の父」とも称される郷土の偉人・本多静六博士の『天然更新の森』という考え方は、現代のSDGsの理念を先取りしていると考えられます。その功績を改めて顕彰するとともに、博士の教えを積極的に広めることにより、市民の地元への誇りや愛着の醸成を図ることが重要です。

関連図表や写真等

関連図表や写真等

施策の方向性

協働・共創のまちづくり指針

- 久喜の魅力を発掘し、SNS 等を通じて市内外に情報を広く発信します。
- 広報紙や市ホームページ等からまちの情報を積極的に入手し活動します。
- 行政との協働により、久喜に関心を持つ人々を増やします。

(1) 戦略的なシティプロモーションを推進します

交流人口・関係人口の増加を図るとともに、市民の地元への誇りや愛着を醸成するため、広報紙や市ホームページのほか、メール配信サービスや公式 SNS、公式動画チャンネル等の様々な情報発信媒体、フィルムコミッション等の機会を活用して、久喜の魅力を市内外に向け戦略的に発信し、市の知名度やイメージの向上に努めます。また、久喜の魅力を活用し、移住・定住や企業立地の促進等を図る取組みを推進します。

(2) 久喜の魅力を発掘し活用します

水辺や田園風景、季節の花、先人が育んできた歴史・文化、優れた交通利便性や子育て環境、特産品等、本市が有する多様な魅力を多角的に発掘します。また、本市の魅力を次世代に引き継げるよう、関係団体やボランティア等を支援します。

さらに、祭りやイベント・文化財等の観光資源としての価値を高め、久喜の強みとして活用するとともに、本市の交通利便性や立地条件を生かした観光を推進します。

(3) 本多静六博士の功績を生かしたまちづくりを進めます

郷土の偉人である本多静六博士の功績を顕彰するとともに、博士と関連付けた SDGs の推進や「(仮称)本多静六記念 市民の森・緑の公園」の整備等、本多静六博士の教えを踏まえた取組みを進めます。

重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (R3)	目標値 (R9)
人口推移における社会動態の増加数		
年間観光入込客数		
ふるさと納税寄附金の寄附者数【再掲】		

関連する分野別計画

久喜市シティプロモーション推進指針（平成 25 (2013) 年度策定）

久喜市(仮称)本多静六記念 市民の森・緑の公園基本計画（平成 29 (2017) 年度策定）

第2部 基本計画

基本目標 8 持続可能でスマートな行政を運営し市民生活を支えるまちをつくる

＜基本目標 8＞ （検討原案）

8-1. 時代に順応した行政改革を推進する

5年後のまちの姿

社会経済情勢の著しい変化や複雑化かつ多様化する課題に的確に対応した、効率的で効果的な行政運営、継続的な行政改革を実行しています。

また、市が保有する施設について、アセットマネジメントの観点から配置の適正化や、長寿命化を進めています。

◇関連する SDGs の主なゴールとターゲット

ゴール				
ターゲット	10. 2 10. 3	12. 7	16. 5 16. 6 16. 7	17. 14 17. 15

現状と課題

- 少子高齢化と人口減少が全国的に進む中、住民にとって最も身近な行政機関である市町村には、社会経済情勢の著しい変化や、複雑化かつ多様化する地域課題への的確な対応が求められています。また、財源や人材等の行政資源に限りがある中、持続可能な行政運営の重要性がこれまで以上に高まっています。
- 本市では、「行政改革大綱」及び「第2次行政改革大綱」を策定し、行政改革を推進してきました。また、行政運営においては、社会情勢の変化や新たな市民ニーズに柔軟に対応できる組織機構の構築や、「久喜市人材育成基本方針」を踏まえた『求められる職員像』の実現に向けた職員一人ひとりの意識や能力の向上が必要です。
- 公共施設の老朽化が進み、今後、改修や建替に多額の費用が必要になると見込んでいます。このため、公共施設の配置の適正化や、長寿命化等による公共施設アセットマネジメントの推進が必要です。

関連図表や写真等

関連図表や写真等

施策の方向性

協働・共創のまちづくり指針

- 市の行政改革や行政課題に関心を持ち、持続的な行政運営に協力します。

(1) 効率的・効果的で柔軟な行政運営を推進します

行政改革を推進し、組織機構改革や事務の効率化・高度化を図ります。また、行政評価システムを有効に活用し、事業等のスクラップ・アンド・ビルドや官民連携の更なる推進に努めます。

さらに、広域的な行政課題に対応するため、近隣市町等と連携し、地域活性化に向けた PR 活動や公共施設の相互利用等を推進します。

(2) 市民とともに考え判断し責任を持って行動する職員を育成します

本市のまちづくりを担い、市民の期待に応える行政サービスを提供できる人材を育成するため、職員研修の充実、適正な人事評価の推進、定年延長に伴う働き方の変化への対応や意識改革の推進等を進めます。

(3) 公共施設の配置の適正化・長寿命化等と未利用地の活用を図ります

次世代へ安全、安心かつ魅力的な公共施設を引き継ぐため、公共施設の配置の適正化や長寿命化等による公共施設アセットマネジメントを推進します。また、本市が保有する未利用地の貸付や処分等を図ります。

重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (R3)	目標値 (R9)
重要業績評価指標 (KPI) の達成率		

関連する分野別計画

久喜市定員適正化計画（令和 2 (2020) 年度～令和 6 (2024) 年度）

久喜市人材育成基本方針（平成 23 (2011) 年度～）

久喜市公共施設等総合管理計画（平成 28 (2016) 年度～令和 37 (2055) 年度）

久喜市公共施設個別施設計画（令和 3 (2021) 年度～令和 37 (2055) 年度）

8-2. DXによる行政のデジタル化を推進し市民の利便性を高める

5年後のまちの姿

自治体DX(デジタル・トランスフォーメーション)による行政のデジタル化が実現し、業務の効率化を図ることできめ細かなサービスを提供しているほか、行政手続きのオンライン化により市民の利便性が大きく向上しています。また、デジタル化を通じ、市民・事業者・各種団体・行政等の多様な主体との連携が進み、最先端技術等を活用した新たなまちづくりが展開され、「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」が着実に進んでいます。

◇関連するSDGsの主なゴールとターゲット

ゴール	16 平和と公正をすべての人に 	17 パートナーシップで目標を達成しよう 
ターゲット	16.9 16.10	17.8 17.18 17.19

現状と課題

- 国は、「自治体DX推進計画」を策定し、地方自治体にデジタル技術を活用した市民の利便性向上や業務の効率化、更にはデジタル実装を通じた社会の変革等の新たな価値の創出を期待しています。
- 令和3(2021)年9月に、デジタル庁が設置され、国や地方自治体のデジタル化や社会全体のDX推進に向けた動きが加速しています。
- 国の「自治体DX推進計画」を踏まえ、本市のDX推進に向けた全庁的なマネジメント体制の構築、基幹システムの標準化・共通化、行政手続きのオンライン化、AIの利用等を通じ、自治体DXを着実に進めていくことが重要です。
- 本市では、総合窓口化やコンビニ交付サービス等を推進しています。今後は、ICTを活用したオンラインサービスの更なる拡充等により、行政手続きにおける市民の利便性向上を図ることが必要です。
- 本市では、「第2次久喜市情報化推進計画」を策定し、電子申請・届出システム、公共施設Wi-Fi、キャッシュレス決済の導入等により、行政サービスの向上を推進しているほか、統合型地理情報システム、AI-OCR、音声自動文字化等による行政事務の効率化を図っています。同時に、個人情報の保護や外部からの脅威等に対する情報セキュリティ対策の徹底にも取り組んでいます。

関連図表や写真等

関連図表や写真等

施策の方向性

協働・共創のまちづくり指針

- コンビニ交付等の便利なサービスを積極的に活用します。
- 行政手続きにおいて、マイナポータルや電子申請・届出システムを活用します。
- オープンデータをまちづくり活動やビジネスに活用します。

(1) デジタル化による行政(窓口)サービスの向上と行政運営の効率化を図ります

窓口における行政手続きの簡素化や迅速化、オンライン化を推進するため、総合窓口エリアにおける業務の更なる ICT 化のほか、マイナンバーカードの普及を促進し、コンビニ交付サービスやマイナポータル、電子申請・届出システムの利用拡大を図るとともに、情報機器の操作に不慣れな方に対する支援を進めます。また、テレワークや AI を活用した音声・文字認識システム、庶務事務システム等の利活用を進め、業務フローを見直すことで業務改善を進めます。

(2) 最先端技術等を活用したまちづくりを進めます

デジタル化を有効に活用し、自動配送ロボットの実証実験等をはじめとした最先端技術を日常生活に取り入れるなど、産官学の連携による新たなまちづくりを進めます。

(3) 自治体 DX 推進に向けた体制を確立します

行政のデジタル化や AI をはじめとした最先端技術の活用に向け、自治体 DX 推進の原動力となる職員の情報リテラシーの向上に努め、人材の育成を進めます。また、国の「自治体 DX 推進計画」を踏まえ、令和 7 (2025) 年度までに基幹システムの標準化・共通化に対応するとともに、外部の脅威等から情報資産を保護するため、情報システムの適正な運用や情報セキュリティポリシーの徹底を図ります。

さらに、災害時等における業務継続性を確保するため、遠隔地へのデータの保管や情報システムのクラウド化を推進します。

重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (R3)	目標値 (R9)
各種証明書のコンビニ交付の割合		
行政手続きにおけるキャッシュレス決済の割合		

関連する分野別計画

第 3 次久喜市情報化推進計画 (令和 5 (2023) 年度～令和 9 (2027) 年度)

8-3. 持続可能で健全な財政運営と透明性の高い行政運営を確立する

5年後のまちの姿

自主財源の安定的な確保や、事業の選択と集中による財源の有効活用により、持続可能で健全な財政運営を確立しています。

また、情報公開や広聴制度等を通じて透明性の高い行政運営を推進し、市民との間に信頼関係が築かれています。

◇関連する SDGs の主なゴールとターゲット

ゴール				
ターゲット	10.4	12.7	16.6 16.7 16.10	17.1 17.14 17.15

現状と課題

- 地方自治体は、健康・福祉や教育、消防・救急、道路や下水道の整備等、人々の日常生活を支える上で大きな役割を果たしていますが、地方自治体が対応すべき課題は複雑化かつ多様化し、地方財政は厳しい状況にあります。
- 今後の本市の財政状況は、少子高齢化・人口減少等に伴い、市税の増は見込めない一方で、社会保障費及び公共施設の整備・改修費の増等により、引き続き厳しい状況が見込まれています。
- 限られた財源の中で、社会情勢の変化や新たな課題等に対応し、持続可能で健全な財政運営を図るためには、財源の確保と有効活用に向けた取組みが必要です。
- 透明性が高く市民から信頼される行政運営を目指すため、情報公開条例に基づく情報公開の推進が必要です。また、市政に対する市民ニーズを的確に把握し、市政に反映していくことが求められています。

関連図表や写真等	関連図表や写真等
----------	----------

施策の方向性

協働・共創のまちづくり指針

- 納税義務を果たし、市の財政運営に関心を持ちます。
- 市政に関心を持ち、市が公開する情報を積極的に活用します。

(1) 健全な財政運営に取り組みます

健全な財政基盤を確立するため、市税の安定的な確保や、新たな自主財源の確保、受益者負担の適正化、事業のスクラップ・アンド・ビルド等を推進するとともに、一定程度の財政調整基金を確保します。また、世代間の負担の公平を図るため、適切な地方債の活用を図ります。

(2) 効率的・効果的な財政運営を推進します

限られた財源を有効に活用するため、予算編成方法を見直すとともに、予算編成過程・財政状況を分かりやすく公表します。

(3) 透明性の高い行政運営を推進し市民との信頼関係を築きます

開かれた市政の実現に向け、個人情報の保護を徹底した上で、久喜市情報公開条例に基づいた市政情報の公開を推進します。また、様々な事業や計画策定過程等への市民参加や広聴制度を通じて、市民からの意見や提案を市政に反映します。

重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (R3)	目標値 (R9)
実質公債費比率		
ふるさと納税寄附金の受入額		
ガバメントクラウドファンディングによる寄附受入額		
企業版ふるさと納税寄附金の受入額		

関連する分野別計画

久喜市中期財政計画 (令和4(2022)年度～令和8(2026)年度)